



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



さの かずや
佐野 和也
(明和)

再生可能エネルギー導入について

問 富士宮市の公共施設における再生可能エネルギー発電の現状について。

部長 現在20施設に太陽光発電設備を導入し総量は19万3137kw/hで、令和4年度の公共施設全体の電力使用量の0.6%を賅っている。目標値に対する進捗率は1.1%である。

問 今後の導入計画について。

部長 2050年までに市域の二酸化炭素排出量実質0を目指し、発電の導入に向けて導入目標を定め段階的に取組を進める。

問 市内浄化センター及び浄水場に水力発電の導入を提案するがいかがか。

部長 費用対効果を得られず、独立採算制の原則を課せられた公営企業の経営という観点からも難しいと判断している。

地域交通のこれからについて

問 杉田3区、4区でおこなわれているカーシェアリングの補助について。

部長 地域の課題を地域の住民の方でディスカッションしながら解決していくというメソッドをつくりましょうということが、立ち上げであったため補助ということは行っていない。私も、立ち上げに参加しただけのため、その後どういった活動をしているのかというのは、社会福祉協議会の関係の方が知っているかもしれないが、私もそれはそれが軌道に乗ったという判断で離れた。

富士宮市内における道路環境について

問 観光客にとって観光地も大事だが、そこに行き着くまでの道中も観光の一部であると思うが、路肩やガードレールが見えない雑草はマイナスイメージを与えると思うがいかがか。

部長 観光時期を見越して業務委託により対応し、市役所に要望があれば各道路管理者に情報提供を行い、対応してもらっている。



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

人口減少を前提とした市政運営について

問 人口減に歯止めが効いていない現実を受け止め、富士宮市第6次総合計画を策定すべき。

部長 現状、人口ビジョン策定時の将来推計より1000人程度減少が加速している。人口減少前提の取組、具体的にはデジタル技術を活用し、自治体DX(デジタル変革)を含む戦略、総合計画としていく。

問 AI(人工知能)やRPA(事務の自動化)、CIO(ITガバナンス)補佐官の導入は。

部長 AIチャットボットの活用など研究している。DXを進める中で足りない部分があったらCIO補佐官の活用も検討していきたい。

意見 人口減少対策でDX化は推し進めなければならない。対面とDXを組み合わせることで、市民サービスの維持に努めてほしい。

プラごみ分別回収について

問 プラごみ収集でリチウムイオン電池が原因の火災が全国で多発している。収集作業員の安全確保のためにも、来春の分別回収に合わせた拠点回収を始めるべきではないか。

部長 市民からの処分方法の問い合わせも多い。公共施設に回収箱を置くよう検討したい。

福祉避難所の運営について

問 特別な配慮が必要な方のための福祉避難所運営体制を定める検討会がコロナ禍によって滞っている。検討会を早期に再開できないか。

部長 現在の受入体制を調査、個々の施設と課題等について協議を進める予定。避難行動要支援者名簿の再作成に取り掛かっている。

問 施設が必要物資を揃えるのに国の緊急防災・減災事業債が活用可能。使えるものは使って、市として補助すべき。

部長 備品の保管場所を検討する必要がある。施設側と話し合いを進める中で、活用が必要か検討していく。